

学校図書館支援センター通信 NO.118

1月号

平成29年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）



本年もどうぞよろしくお願いたします



平成30年がスタートしました。百人一首大会、かるた大会など、新年に合わせた行事を企画している学校もあるのではないのでしょうか。平成29年度も残り3か月となりましたが、ネットワーク便の利用状況をみてみますと、国語科を中心に学校図書館を活用した授業が計画されています。今年も学校図書館を通して、充実した学びが実践されることを願っています。

中学校でアニメーション ～市川市立第七中学校 国語科の実践紹介～

「つもり・デ・ブックトーク」



1月11日（木）、1学年の国語科の授業で、アニメーション「つもり・デ・ブックトーク」が行われました。授業者は、増田 栄子先生です。学校司書 牛尾 直枝さんと協力しながら、学習が進んでいきました。「つもり・デ・ブックトーク」とは、読んだつもりになって図書を紹介する活動です。

また、今回のアニメーションの手法は、前日に行われた定例研の学校図書館部会の中で、アニメーションクラブ代表の岩田泰史先生が公開授業で紹介されました。

今回は、事前に40冊の図書を選び、その中から共通のテーマを見つけ、グループごと4～5冊の図書を紹介します。選書をする上で、共通のテーマの他に「手に取ってほしい本」「表紙に絵や写真が入っていて内容が想像できる本」「内容に隠されたテーマがある本」という観点を大切にしました。各グループから出されたテーマは、「人は個性豊か」「美しい音楽」「どうぶつの森」「いのち」等でした。同じ図書でもテーマが違うこともあり、生徒たちは、興味深く発表を聞いていました。話し合い中、「この本読んだことあるよ。」「どんな内容？おもしろい？」といった会話が自然に生まれていました。この活動を通して、読書に向けての意欲が高まったように感じました。

「つもり・デ・ブックトーク」の方法

グループで協力しながら活動します。

- ①図書の内容が書かれたリストを見ながら、テーマを見つける。
※書名、紹介文、書影を手掛かりに共通のテーマを考えます。
- ②テーマに合わせて、4～5冊の図書を選ぶ。
- ③画用紙にテーマを書いて、発表の準備をする。
- ④グループごとに前へ出て、一人1冊ずつ選んだ図書を紹介する。
※テーマを紹介してから、図書の紹介に入ります。この時、紹介文を読んだことがあるように発表します。発表は、リストに書かれた図書の紹介文を参考にします。

なお、小学4年生の国語科に「読書発表会をしよう」という単元があります。テーマの見つけ方の導入としても利用できるアニメーションです。小学校で実践する際には、教科書の最後に載っている本の付録が利用できるとの話がありました。



授業後の生徒たちの感想

- ・普段手に取らない種類の本を手にとることができてよかった。
- ・本はあまり好きではない自分でも、本の内容を読んで少し楽しさがわかった。

図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～



南新浜小学校は11月の読書月間中の朝会で、毎年図書委員が発表をします。今年は劇とペープサートで意見が半分に分かれたため、両方を組み合わせて、ステイブンソン作「モンティ」を発表しました。ペープサートの作成から始まり、劇とペープサートの切り替わりや、音楽や声と動きを合わせることも難しく、なかなか思うようには進みませんでした。

しかし、チームワークのよい6年生のリーダーシップのもと、休み時間を使って子供たちが練習を重ねた結果、本番では1年生から6年生までみんなに楽しんでもらえ、先生方にもたくさんのおほめの言葉をいただきました。図書委員の子どもたちも達成感を味わうことができ、自信につながったようです。そんな頼もしい子供たちとこれからも読書活動を盛り上げていきたいと思っています。

（市川市立南新浜小学校 学校司書 石井 伸子）

学校図書館での新聞活用を紹介します。～学校図書館訪問より～

学校司書の方々は、図書資料のほかに新聞や雑誌、パンフレットなどの資料を整えて、教育課程の展開に対応できるようにしています。そこで、今回は新聞活用に着目し、



平田小学校 学校図書館前の掲示板より本の紹介の横には、請求記号が書いてあります。

学校で実践している新聞活用から3つ紹介します。まず1つ目は、新聞の配架の工夫です。多くの子供が新聞に興味を持ってもらえるよう、新聞がすぐに手にとれる位置に場所を作っていました。入り口や学年の廊下など、子供たちの目に留まる場所に新聞を置いてある学校もあります。2つ目は、新聞を資料として活用する方法です。テーマごとに新聞をスクラップしておくことで、調べ学習の資料として利用できます。図書委員会の子供たちと一緒にいってもよいかもしれません。

3つ目は、新聞記事から読書へつなげる方法です。平田小学校では、学校図書館の前に「新聞記事とかんれんの本」コーナーを設けていました。新聞記事をきっかけに、知的好奇心を高めることができます。一つの新聞記事から新しい本と出会う素敵な活用方法です。



授業で使える！資料提供のお知らせ

平成28年度の学校司書連絡会で、歴史博物館の監修、ご助言のもと「行徳の塩」の資料を作成しました。その資料をC4 t hの書庫に保存しました。（書庫>学校図書館>博物館資料>③塩・海苔>0-0行徳の塩）また、平成21年度に作成をして各学校へ配付しました「市川の昔話」のデータも書庫の学校図書館フォルダ内に保存しました。ぜひご利用ください。



『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

